



4がつのえんだより

太陽の子保育園 平成29年4月号

寒かった3月が終わり、4月に入り少しずつ温かくなってきました。園の周りでもかわいい花がちらほら咲きはじめています。

いよいよ新年度がスタートします。子どもたちは、期待と不安を胸に登園することと思います。ひとりひとりの子どもたちの思いを受け止め、楽しく安心して過ごせますよう、ご家庭と園で力を合わせて見守りたいと思います。ご協力をお願いいたします。



お子さまたちが安心して楽しい保育園生活を送れますように、下記のことに配慮していただきますようお願いいたします。

- ◎早寝早起き、朝食をとる、排便をするなど、良い生活習慣を身につけましょう。
- ◎持ち物には、すべて名前をご記入ください。
- ◎動きやすい服装・靴にしましょう。
 - ・ひっかかりが少ない服
 - ・体や足のサイズに合ったもの

毎朝必ず健康観察をお願いします

子どもたちは新しい環境や緊張のため、疲れが出やすくなります。普段と様子が違う場合、登園時に声をかけてください。

- 【ポイント】
- 1 睡眠……睡眠は十分ですか？
機嫌は良いですか？
 - 2 顔色、食欲……顔色は良いですか？
ご飯はいつもと変わらないですか？
 - 3 肌のようす……ブツブツが出ていませんか？
 - 4 全体……だるそうにしていませんか？
下痢、便秘をしていませんか？



4月の予定

- 5(水) 音楽指導(幼児)
- 7(金) チューリップ畑
- 10~14 身体測定
- 12(水) 体育指導(幼児)
- 12(水) 全園児健診
- 14(金) 職員会議
- 18(火) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 20(木) 職員研修
- 21(金) お誕生日会
- 25(火) 避難訓練
- 26(水) 調理保育(らいおん)
- 28(金) こどもの日会

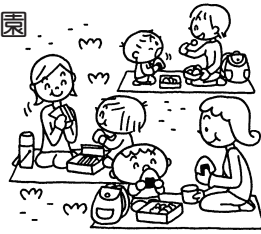
5月の予定

- 9(火) 手洗い指導(幼児)
- 10(水) 音楽指導(幼児)
- 11(木) 歯科検診
- 12(金) 職員研修
- 15~19 身体測定
- 16(火) 職員研修
- 17(水) 体育指導(幼児)
- 23(火) 保育参加・懇談会(くま)
- 24(水) 懇談会(ひよこ)
- 25(木) 調理保育(ばんだ)
- 26(金) お誕生日会
- 29~6/2 職場体験(羽2)
- 30(火) 避難訓練

4/22(土)は親子遠足

午前 9:55 現地集合(予定)

昭和記念公園



詳しい内容は後日しおりを配布致します。

「子育てに自信が持てない時代」の子育て

シンプル育児の正解(主婦の友社)より

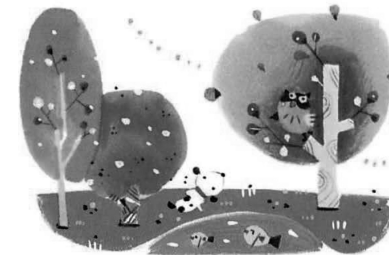
お話し 汐見稔幸先生(東京大学名誉教授・白梅学園大学学長)

「子育ては母親の責任」という無言のプレッシャーが重い。子育てが楽しいと思えないのは母親失格？

いちばん大事な子育ての知恵とは、大変なときは誰かに「手伝って」「助けて」といえることです。

「ほうっておけば子どもは育つ」という状況は失われ、「子どもがちゃんと育つかどうかは、親しだい」というプレッシャーを感じながらの子育ては、誰にとっても大変なことです。親も子育てについて意識的にならなければいけないし、最低限の知恵をもつ必要があるでしょう。では、いちばん大事な子育ての知恵とは何か？それは、「大変なときは誰かに手伝って、助けてと言えること」だと私は考えます。

地縁血縁のサポートが期待できない現代では、子育てを全部自分一人でやるというのは、かなり大変なことです。慣れない育児を一人で抱え込んだ結果、自分も子どもも追い詰めてしまうことは避けなければなりません。地域の育児相談、育児サークルなどの育児支援を始め、いろいろな人の手を上手に借りること。これが、いまの時代にいちばん必要な「育児の知恵」でしょう。



初めての子育てはまさに毎日が手探り。わが子がうまく育っているのか、ときどき不安になります

子育てには、100%の成功も100%の失敗もありません。そのときどきに悩んで迷って修正しながらやっていきましょう。

子育てで「こうすれば、間違いなく育つ」というようなマニュアルはありませんから、ときどきは立ち止まって、「うちの子はうまく育っているかな？」と考えることも大切です。自分の子育てをふりかえって、たとえば「厳しすぎたかな？」「放任しすぎたかな？」と気づいたら、まずかった点を反省して軌道修正すればいいのです。そんなふうに考えれば、「子育てって、案外シンプルなんだな」と、少し気持ちが楽になるのではないでしょうか。

子育ては小さな危機管理の連続。「悩んでも迷っても当たり前。間違えたら、気持ちを切り替えてやり直そう」というくらいの気持ちでいたほうが、お母さんはもちろん、子どもだってラクでしょう。

子どものよいところを伸ばしてあげたい。そのために親ができることは？

"うちの子らしさ"をポジティブな視線で見つけてあげましょう。

「子どもの成長についての満足度」をたずねた国際比較調査によると、日本の親の子どもへの満足度は、アメリカ、フランス、スウェーデン、韓国、タイを含めた6カ国の中でいちばん低い(58.5%)という結果が出ています。

アメリカ、スウェーデンは約89%、日本を除く5カ国中でいちばん低い韓国でも74%ですから、日本の親は残念ながらわが子のよいところ、光るところを見つけるのがうまくないようです。

親の期待というのは決まっていて、「競争心があり、要領がよく、がんばりやで、親の言うことをよく聞いて」ということですが、そんな子どもは現実にはいませんよね。ありえない理想にこだわるよりも、目の前の子どもをよく見て、その子ならではの特性を発見してやることのほうが、ずっと大切だと私は思います。

とことんマイペースなタイプの子なら、「自分をしっかり持っているから、世の中に流されないで生きていける子になるわよ」、物ごとにじっくり取り組むあまり、テストはいつも時間切れになってしまうような子には、「でも、あなたはすごくいい仕事ができると思うな」というふうに、子どもの特性をポジティブに受け止めることができれば、「うちの子っておもしろい。将来が楽しみ!」と思えるのではないのでしょうか。

変化の激しい世の中だからこそ、どんな状況でもたくましく生きていける子どもに育てたい。どうすれば？

親に認められて育つ子は自信を持って世の中に羽ばたいていけます。

親が自分のことをどう見ているかということは、子どもにちゃんと伝わっています。「あなたのこういうところがすばらしいね」と、親に認められて育つ子は、「自分は大丈夫」という自己肯定感(自尊感情)を持つことができます。自分に自信があれば、人と自分が違うこともおもしろいと思えるし、みんなと違う子のことも認められます。こういう感覚を持っている子どもは、勇気を持って世の中に出て行くことができるでしょう。

親が子どものためにしなければならぬこと。それは「あなたが大好きよ」と心からあたたかく受け入れること、そして「あなたなら大丈夫」という自信を与えてやること。それだけやっていれば、子どもはまずまずちゃんと育つものです。

つけかわえるなら、子どもというのは大人が元気であると、「生きるって、楽しいことなんだな」「お父さん、お母さんががんばっているから、ぼくらもがんばろう」という気になるものです。親だからといって完璧である必要はありませんが、親が誠実に楽しそうに生きることが、子どもの生きる力を育てることに、きつとつながっているはず。きつとつながっているはず。



発達支援 Kiitos 羽村開所に向けてのお願い

1. Kiitos の職員 3 名が研修を兼ねて保育に参加します
Kiitosに勤務する3名の職員が、4~6月の3か月間、研修を兼ねて保育に参加しますので、よろしくお願いします。
○佐藤寛子(社会福祉士・児童発達支援管理責任者)
○伊藤実那(保育士 ※保育園勤務経験者)
○齋藤仁美(児童指導員)
2. 駐車場に簡易プレハブを設置します(車1台分占有)
Kiitos建設工事にあたって4月~5月の2か月間、保育園駐車場に簡易事務所を設置させていただきます。中では1~2名の作業員が事務を行う予定です。設置場所は駐車場一番奥の園庭・福島屋駐車場側で車一台分を使用します。